

編集後記

「常在戦場」。常に戦場にいる覚悟で事に当たれという意味で最近よく使われる。本来の意味は「戦場でうまくいかずとも他の場所でも取り返すことは可能」との説も。闘いに負けたが政治力で復活した牧野家の家訓です。[山]

いつもピンチのような、そんなピンチでもなかったような…。自覚があるとすれば、ピンチを脱しかけると職場のことや、世間のことが見えてくる。それがバロメーター。そして、また見えなくなる… (笑)。[邦]

編集作業中、別の仕事で大ピンチ！切り抜けたと思ったら、今度は『YELL』の入稿に間に合わない!? ピンチの連続でしたが、無事にみなさんのお手元に届けられてホッ。困った時に頼れる仲間、大切にしたいです。[染]

原稿の締め切りを失念して大ピンチ!でも、往々にして追い込まれた時ほどいいアイデアを思いついたりする。人はピンチにたつと集中力が増すらしい。「チャンスはピンチの顔をしてやってくる」とも言いますよね。[穂]

YELL

2017
Vol.3

autumn

編集長・発行人

高比良美穂

編集

近藤邦雄
若染雄太

製作・発行

社会応援ネットワーク

製作協力

日本労働組合総連合会
非正規労働センター

デザイン

細山田デザイン事務所

後輩ユニオくん OJT 日誌 ピンチをチャンスに

うえだたくみ

